

## 「外来化学療法室のご紹介」

がんの治療法には、手術（外科治療）、薬物療法、放射線治療などがあります。薬物療法には、「化学療法」「内分泌療法（ホルモン療法）」「分子標的療法」などの種類があり、がん細胞の増殖を抑えたり、再発や転移を防いだりする効果があります。

化学療法とは、抗がん剤を用いた治療です。抗がん剤と聞けば、吐き気や体のだるさ、脱毛などの副作用が起こるのではないかと、多くの方は不安に感じられると思います。しかし、副作用対策の進歩により、以前は入院して化学療法を行うことが一般的でしたが、今では外来でも安全に化学療法を行えるようになってきました。外来治療は、ライフ・スタイルを変えることなく、仕事や日常生活を続けながら治療を受けられるというメリットがあります。

外来化学療法室には、治療法や治療期間は、患者さんによって異なりますが、内服抗がん剤だけではなく、点滴を用いて抗がん剤治療を受けられている患者さんが通院されています。また、専任の看護師が常に3～4名在室し、患者さんの体調に変化がないか、治療や副作用に対する不安や質問、日常生活で心配事はないかなど、観察や確認を行った後に、医師の診察を受ける体制をとっています。専任看護師が従事しているため、副作用や日常生活で心配なこと・困っていることについて、治療期間中を通じて継続的に関わることができます。他にも、専任薬剤師による薬剤指導、管理栄養士による栄養相談や食事指導も行っています。

看護師は、患者さんに病気や治療法をよく理解してもらうために、丁寧な説明をすることも不安を和らげるために大切なことだと考えています。治療のことだけでなく、治療費や経済的な問題、仕事の悩み、療養環境や家族の悩みなど、療養生活に対する支援も行っています。相談したいと思った時は、いつでも相談してください。